

縁をつなぎ 安心をとどけるお寺

清元院だより

第7号

清元院 本堂内陣天井の三十二枚の格子絵

(江戸時代後期 作者不明)

清元院の本尊さま前(内陣)の天井には桜、牡丹、鳥、雷神、中国の麒麟など架空の動物、等々、三十二枚の格子絵(こうしえ)が描かれています。顔料系の岩絵の具で丁寧に細部まで描かれており一八〇年経った今も色鮮やかに当時の美しさを伝えてくれます。一枚一枚に寄附者の名前も記され資料としても貴重なもの。残念ながら作者は不明ですが、江戸時代の以西地区の人々が絵師に描かせ奉納し、華やかに本尊さまを飾ってくださった、お寺を大切にしている気持ちが今に伝わる格子絵です。

一仏両祖のはなし

コラム「相承」

おてらニュース

お寺のススメ

行持予定・年回表

発行…曹洞宗大梁山清元院 住職 井上英之

佛歴2561年 平成30年1月1日

曹洞宗で
大切にしている

いちぶつりょうそ 一仏兩祖の話

お檀家の多くの家で仏壇のまん中にこの掛け軸が掛かっていると思います。さてこの3人はどなたでしょう？上はみなさんよくご存じの「お釈迦さま」、下の右側が「道元禅師さま」、下の左側が「瑩山禅師さま」です。「一仏兩祖」（一人の仏さまと2人の祖師様）といって曹洞宗で大切にしている3人の祖師さまです。



瑩山禅師 (けいざんぜんじ) 道元禅師 (どうげんぜんじ)

●お釈迦さまは、今から約二千五百年前頃、釈迦族の王子としてお生まれになり、人生の問題に深く苦悩されて29歳で出家されました。厳しい修行の後、35歳で成道され、仏陀（ぶつだ、覚者）となられました。弟子を育て仏法を伝え1人でも多くの人々を苦しみから救うために生涯旅をお続けになり、80歳でお亡くなりになりました。曹洞宗のご本尊は、このお釈迦さまです。そして、そのお弟子により代々連綿と仏法が正しく伝えられてきたことによって、現在の私達も仏法に巡り逢うことが出来ているのです。

●道元禅師は1200年（鎌倉時代）、京都で生まれ、24歳で仏道を求め中国の宋に渡り修行に励まれ、お釈迦さまから続く「正伝の仏法」を嗣がれました。帰国した後、正しい坐禅と仏法を人びとへ伝え教化に励まれ、45歳のときに越前に大仏寺（後に永平寺と改名）を建立しました。その後も道元禅師は修の生を送りながら弟子を育てられ、54歳でそのご生涯を閉じるまで日本の曹洞宗の礎を築かれました。

●瑩山禅師は1264年、越前にお生まれ、8歳で永平寺に入り修行を始めました。19歳になると仏法を求め諸国行脚（あんぎゃ）の旅に出られました。そして35歳のとき、加賀国（石川県）の大乗寺住職となり、その門下には優れた人材が集まるようになり、曹洞宗が発展する基礎が築かれました。その後、58歳のとき總持寺（そうじじ）の住職となり、62歳でそのご生涯を閉じられました。（※總持寺はのちに火災で全焼し、明治44年に横浜市鶴見の地に移されました。）

●永平寺と總持寺は両方とも曹洞宗の大本山で、現在もそれぞれ約200人が修行しています。

コラム 相承そうじょう

人と人が相見あひまえ継承していく「相承」について、独り言をいう「コラム」です。

「もち米・小豆・砂糖」

亡くなった祖母が小学生の私にお供えについて教えてくれた。伯耆・因幡の国で貴重な食べ物として普段は口にせず大事にしてきたものがある。もち米・小豆・砂糖の3つ。大事に保管し、祝いでも供養でも心を込めたいときに使うのだと。だから祝いでも供養でも赤飯を焚き、甘いお菓子を添える。法事のお供えの赤飯と砂糖にはそんな昔からの心がこもっているのだそうだ。

戦後のもち米が手に入りにくい時に、代用として小麦を使いあんパンを供えるようになったそう。なるほど中身は小豆と砂糖だ。その後、パンなら何でもよくなり、さらには法事まんじゅうが流行った時期もある。

この貴重な3つを家族全員が腹いっぱい食べることができる日が年に3日ある。正月3日だ。雑煮と称して小豆ぜんざいを食べる。この鳥取県独自の風習は、子どもの頃の祖母にとって最高に幸せな3日間だったそうだ。



月明かり茶会

9月30日(土)の夜、昨年に続き2回目の月明かり茶会を開催し約60名の方がおいでくださいました。今年はお檀家のボランティアの皆さんにより整備していただいた竹林をライトアップし、その美しさは見事でした。また朗読ボランティア「しおさい」の皆さんに芥川龍之介の蜘蛛の糸を朗読していただきました。中国茶のコーナーでは初めて



みる作法に皆さんがくぎ付け。秋の夜の風情をしっかりと楽しんでいただいた2時間となりました。

10月9日(月)体育の日に「お寺で縁結び」を開催しました。主催は琴浦町お寺で縁結び実行委員会です。

(私も入っています。)男女15名ずつの募集に、男性35名、女性21名もの応募があり抽選となりました。法話、自己紹介、数珠づくり、フリータイム、連絡先交換と続き、未来のパートナーと出会うため、楽しく&懸命に交流される姿が目立ちました。結果は2組のカップルが誕生され、幸先の良いスタートが切れました。

次回は6月10日(日)です。どうぞみなさま思い切ってご参加ください。お寺で縁を結びましょう。



仏前結婚式

11月11日(日)晴天のもと、清元院で仏前結婚式が執り行われました。入江志津子さんの長持唄に引かれて昔ながらの花嫁行列を組み、若い二人は山門から本尊様の前に進み、末永く寄り添うことを誓われました。懐かしい婚礼風景を一目見ようと地元以西をはじめ多くの方が来られました。

【参列者の声】

初めての仏前式。あんなに美しいものだと思わなかった。心に響く温かい式でした。



11月20日(月)、倉吉の成徳公民館「いきいきシニア成徳教室」20名のみなさんがおいでになりました。法話・坐禅・諸堂拝観・写経写仏・お茶などじっくり半日ご修行されました。坐禅は意外にも!?椅子坐禅の方が少なく、しっかり座ろうという意気込みが感じられました。法話は「幸せに生きるための仏教の教え」と題して、お釈迦さまのみ教えをお話させていただきました。これもまたメモを取る方が多く、こちらの方が頭の下がる思いでした。まさしく、「いきいきと生きるシニア」のみなさんでした。



成徳公民館 いきいきシニア教室

お寺のススメ

ご朱印のススメ

御朱印ブームで、御朱印帳をお持ちの方も多いことでしょう。ところで、清元院の御朱印をもっておられるでしょうか？御朱印は観光地や霊場だけでなく、どんなお寺でも書いて頂けるものです。清元院でもいつでもお書きしますよ。



お寺利用のススメ

お寺を使って開催したい行事や寄合があれば、お寺までご連絡ください。昨年は以西小学校の同窓会、商談、趣味の教室などに利用していただきました。どうぞお気軽に。

寺参りのススメ

年5回のお寺参りをしましょう。最近お参りの方が増えています。尊い姿、感謝いたします。

(1)正月：新年のご挨拶

※正月礼も持参

(2)春彼岸：先祖供養も拝みます

(3)お盆：盂蘭盆会供養

※盆礼も持参

(4)秋彼岸：先祖供養も拝みます

(5)年末：掃除 お供え正月準備

過去帳のススメ

お家の過去帳を作って仏壇に置きませんか。初代から現在までの先祖のお名前、戒名、命日など過去帳にきちんと残すことで、命をつないでくださったご先祖様に感謝の心を届けます。

遠慮なくご相談ください。



椅子貸し出しのススメ

法事、お通夜、お葬式等にお寺の椅子を30脚まで、無料で貸し出します。高齢になっても元気な方が多くなった分、ひざの痛い方も多くなりました。座布団に座られるのがお気の毒です。お気軽にご連絡ください。



「はすとも」のススメ

桜の花が咲くころに、蓮の蓮根を植え替えます。今年は倍の40鉢に増やす予定です。住職一人では大変です。そこで蓮友の会（「はすとも」）を募集し、みなさんと一緒に蓮を育て、花を楽しみます。蓮をおすそ分けしたいと思えます。みなさん「はすとも」に参加して蓮を楽しみましょう。

4月までの行持予定

◇1月1～3日 ・三朝祈願
◇2月15日 ・涅槃会

（お釈迦さまの命日）

◇3月10日 ・大般若法要
◇3月18日 ・彼岸の入り

21日 ・中日

◇4月8日 ・花まつり

◇桜の咲くころ

・蓮の植え替え

お知らせ

◇写経写仏の会 ・第1日曜

◇坐禅会 ・第3日曜

◇今年1月からの「お寺ヨガ」

は毎月第4水曜日に変更になりました。

平成三十年 年回表

一周忌	平成二十九年
三回忌	平成二十八年
七回忌	平成二十四年
十三回忌	平成十八年
十七回忌	平成十四年
二十五回忌	平成六年
三十三回忌	昭和六十一年
五十回忌	昭和四十四年



清元院

住職 井上 英之

〒 689-2522 鳥取県東伯郡琴浦町宮木 57
電話 0858-55-7063 fax 0858-55-7064 携帯 090-4923-8768
メール inoterai1@mx1.tcbnet.ne.jp facebook: 清元院 井上英之